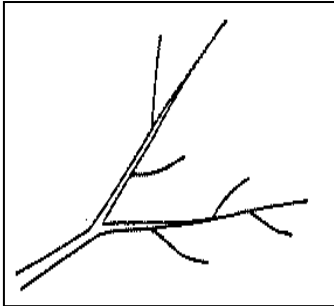


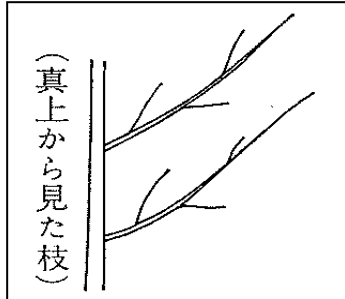
第18回 農業後継者りんご整枝剪定競技会（筆記試験）

団体名		番号		氏名	
-----	--	----	--	----	--

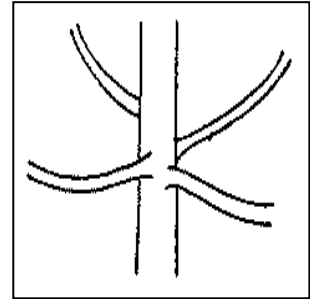
問題1 次の図の名称を下の用語から選び、答えなさい。 12点（各2点）



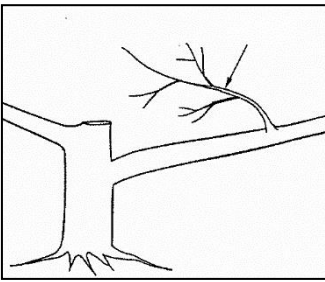
()



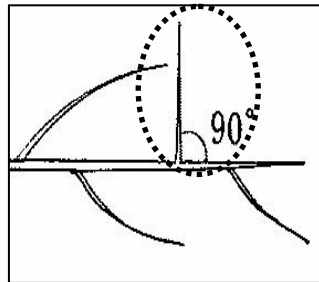
()



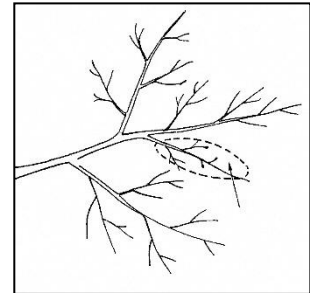
()



()



()



()

角枝	共枝	フェザー	車枝	逆向枝	平行枝	同年枝	結果母枝
立枝	新梢	予備枝	結果母枝群	結果枝	更新枝	けん制枝	

問題2 次の文章に当てはまる用語を選び、答えなさい。 16点（各2点）

- ① 果枝長 11～20 cmの枝。 ① _____
- ② 2年生枝の先端付近から勢力の似た枝が3～4本出た状態。 ② _____
- ③ 枝の側方にある葉の付け根に形成される芽。 ③ _____
- ④ 枝の成長分岐点。年変わりの部分。 ④ _____
- ⑤ 古い枝等にとって代わりつつあるか、代わった枝。 ⑤ _____
- ⑥ 年によって花や果実のなる量の変動すること。 ⑥ _____
- ⑦ 果台から発出した枝 ⑦ _____
- ⑧ 新梢が20^{センチ}程度伸びた頃に先端を摘むこと。 ⑧ _____

鳥足	最短果枝	短果枝	中果枝	発育枝	徒長枝	潜芽	頂芽	腋芽	擬花芽	車枝	重なり枝
予備枝	交差枝	年次	長果枝	更新枝	先刈り	摘心	蕾切り	蕾刈り	果台枝	隔年結果性	

問題3 次の文章の（ ）に正しい用語を下から選びなさい。 20点（各2点）

- ①枝は高い位置や先端から出たものほど生育が（ ）である。これを（ ）という。
- ②果実の（ ）や着色を促したり、翌年に向けて充実した花芽を形成するためには、（ ）と養水分が必要である。
- ③りんごの（ ）形成は、主に7月上旬頃から8月下旬頃にかけて行われる。
- ④幹や枝、葉などの伸長肥大する生長を（ ）、花をつくり、果実を生産する生長を（ ）という。
- ⑤一般に弱小芽とは花芽の横径が（ ）以下のものをいう。
- ⑥若木や樹勢の強い樹には（ ）剪定、樹勢の弱い樹には（ ）剪定が基本である。

切り返し 短い 先端 低温 基部 短幹 養水分 長幹 長い 日光 穏やか 肥大 間引き 花芽 時間 3ミリ 5ミリ 1センチ 旺盛 衰弱 高温 種子 生殖生長 栄養生長 頂部優勢 基部優勢

問題4 整枝剪定の目的を3つ答えなさい。 12点（各4点）

- ① _____
- ② _____
- ③ _____

問題5 以下の画像に該当する樹体に感染する病害名を答えよ。 10点（各5点）



① _____



② _____

問題6 次の問いに答えなさい。

10点 (各5点)

①Aさんはハマキムシ、シンクイムシ類防除の為に10aの畑にコンフューザーRを100本設置しました。園地内には20本の丸葉樹があります。1樹あたりコンフューザーRを何本設置すればよいでしょうか。

答え _____

②Bさんは高密度植栽培に取り組みました。10aの畑に列間3m、樹間1mで改植したところ、10a当たりの本数は何本になるか答えなさい。(端数切捨て)

答え _____

問題7 本県りんごの歴史について、下記の文章と一致する人物・画像を選びなさい。 20点 (各5点)

①昭和43年に「紅玉」、「国光」小玉の価格暴落となり山や川に大量放棄され
山川市場と呼ばれた。

① _____

②菊池楯衛氏はりんご栽培の最初の苗木配布者及び試植者で青森りんごの開祖
と言われている。

② _____

③澁川傳次郎氏は青森りんごの戦後復興の祖と言われ、荒廃したりんご園を
復興するため、先頭に立って運動し「青森県りんご協会」を設立した。

③ _____

④斉藤昌美氏は「国光」に変わる品種として、「ふじ」の栽培研究や無償で穂木
を供与されるなど、「ふじ」の普及に尽力した。

④ _____

